

# 薬事情報やまなし

一般社団法人 山梨県薬剤師会  
薬事情報センター

- 薬事情報センターからのお知らせ 【P 1】
  - 2024年春の花粉飛散予測（第1報）
  - 定期購読から
  - インフルエンザ感染対策について
  - 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について
  - 日薬ニュース
  
- 山梨県からのお知らせ 【P 9】
  - 令和6年「はたちの献血」キャンペーンの実施について
  
- 医療保険委員会からのお知らせ 【P 10】
  - 禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧  
（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧）

# 薬事情報センターからのお知らせ

## ○2024年春の花粉飛散予測（第1報）

～今夏の猛暑が影響し例年比は1.2～2.3倍に 前シーズンよりは減少傾向～

- ・今年の夏の猛暑が影響し、例年より多い傾向 特に北海道のシラカバ花粉は非常に多い
- ・九州から東北南部は、今年の春に比べて減少または同程度
- ・東北北部と北海道は、今年の春に比べて大幅に増えるので要注意

一般財団法人日本気象協会より、令和5年9月28日（木）に全国・都道府県別の2024年春の花粉（スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ）飛散予測（第1報）が発表されました。この予測は、前シーズンの花粉飛散結果や今後の気温予測などの気象データをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報、花芽の現地調査の結果などを踏まえて予測されています。

### 1. 2024年シーズンの花粉飛散傾向

2024年春の花粉飛散量は、例年（過去10年の平均）に比べて、九州から東北のほとんどの地域で、多いまたはやや多いでしょう。北海道は非常に多い見込みです。花粉の飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響します。気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は、花芽が多く形成され、翌春の飛散量が多くなる傾向があります。今年の夏は猛暑となったため例年より多い傾向となっています。

### 2. 各地域の花粉飛散傾向

各地域の花粉飛散量は、例年に比べると、九州・四国・中国・東海は120～140%程度でやや多い、近畿・北陸・関東甲信・東北は150～170%程度で多い、北海道はおよそ230%で非常に多い予想です。

前シーズン比では、北陸は60%前後で少ない、九州・四国・中国・近畿・関東甲信は70～80%程度でやや少ない、東海は90%前後で前シーズン並、北海道は600%以上で非常に多い見込みです。東北は地域によって差が大きく、東北南部は80%でやや少ない予想ですが、東北北部はおよそ300%で非常に多い予想となっています。

### 3. 飛散量の予想根拠

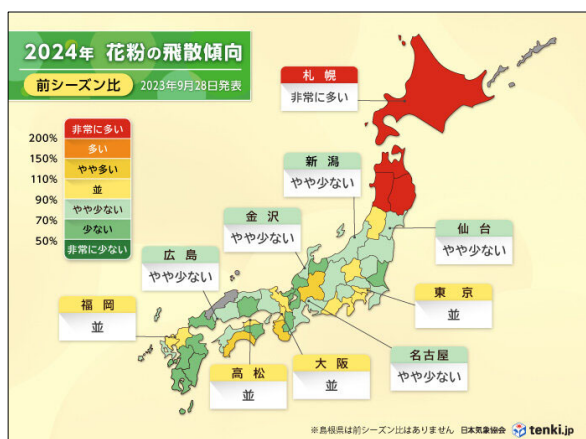
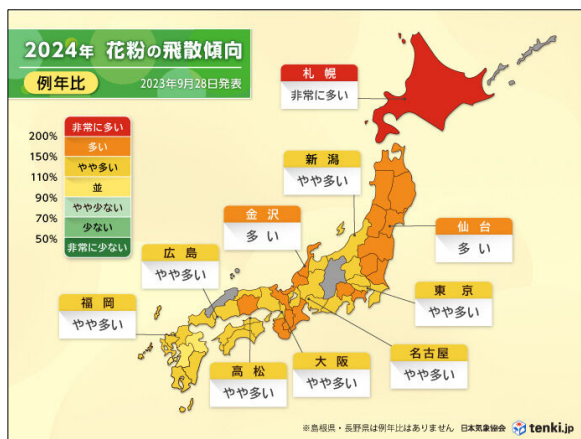
花粉の飛散量は、前年夏の気象が「高温・多照・少雨」だと多くなる一方、前年春の飛散量が多いと減る傾向があります。今年（2023年）は、夏の猛暑の影響で、花芽の形成に好条件な「高温・多照・少雨」という気象条件が九州から北海道にかけて揃いました。

このため、例年に比べて、2024年春の花粉飛散量は多い傾向になる見込みです。特に北海道のシラカバ花粉は非常に多いでしょう。

前シーズンと比べると、2023年に飛散量が多い傾向だった九州から東北南部は、おおむね同じか少なくなる見込みです。逆に、飛散量が少なかった東北北部と北海道は非常に多くなるでしょう。

各地域の花粉飛散傾向

地 方	花粉種別	飛散量（地方平均値%）		2023年夏の気象
		例年比	前シーズン比	
北海道	シラカバ	非常に多い (230%)	非常に多い (630%)	気温：かなり高い 降水量：平年並 日照時間：多い
東北	スギ、ヒノキ	多い (170%)	多い (180%)	気温：かなり高い 降水量：少ない 日照時間：かなり多い
関東 甲信	スギ、ヒノキ	多い (150%)	やや少ない (80%)	気温：かなり高い 降水量：平年並 日照時間：かなり多い
北陸	スギ、ヒノキ	多い (150%)	少ない (60%)	気温：かなり高い 降水量：平年並 日照時間：かなり多い
東海	スギ、ヒノキ	やや多い (120%)	並 (90%)	気温：かなり高い 降水量：多い 日照時間：かなり多い
近畿	スギ、ヒノキ	多い (160%)	やや少ない (80%)	気温：かなり高い 降水量：多い 日照時間：多い
中国	スギ、ヒノキ	やや多い (130%)	やや少ない (70%)	気温：かなり高い 降水量：平年並 日照時間：平年並
四国	スギ、ヒノキ	やや多い (140%)	やや少ない (80%)	気温：高い 降水量：多い 日照時間：平年並
九州	スギ、ヒノキ	やや多い (120%)	やや少ない (70%)	気温：かなり高い 降水量：平年並 日照時間：平年並



## ○定期購読から

薬事情報センターで定期購読している雑誌の目次を一部掲載したものです。  
貸し出し、FAX、コピー等はできませんので、事務局にて閲覧をお願いします。



### 月刊薬事 2023 Vol.65No.15

【特集】向精神薬はどこから使う？ どう使う？

入院患者の精神症状

- ・不眠へのアプローチ
- ・不安へのアプローチ
- ・抑うつへのアプローチ
- ・せん妄へのアプローチ
- ・悩ましい場面でのアプローチ

◇振り返れば国試

- ・不整脈の病態や薬物療法を把握するうえで重要なポイントとは？

◇迷わず判断できる！フローチャート薬物治療

- ・経管栄養に伴う消化管機能障害（便秘、下痢）



### 調剤と情報 2023 Vol.29No.15

【特集】「副作用が生じていないこと」を確認するための副作用の機序とモニタリング

- ・薬局における副作用モニタリングのポイント
- ・副作用症状がないことを確認するモニタリング
  - ・重症高血圧、うっ血性心不全、薬物性味覚障害、ステイアブンス・ジョンソン症候群、間質性肺炎、横紋筋融解症、高血糖、無顆粒球症、肝障害、薬剤性パーキンソンズ、新生児薬物離脱症候群

【今月の話題】

- ・令和6年度厚生労働省予算概算要求  
薬剤師・薬局関係の概算要求と税制改正要望



### 薬局 2023 Vol.74No.12

【特集】転ばぬ先の漢方薬

脱・介護！フレイル・ロコモ・サルコペニア対策の新たな一手

- ・フレイル対策に漢方の目線をプラスする
  - ・「フレイル」の3つの構成要素と「健康長寿」の3つの柱
  - ・「健康長寿」の3つの柱をデザインする漢方
- ・「高齢者の低栄養」予防・カイゼン編
  - ・低栄養とは？そのリスクは？原因は？
  - ・「たべる」を補完する漢方薬 etc
- ・「高齢者のリハビリ」サポート編
- ・「多剤併用・長期服用」リスク対策編

## ○インフルエンザ感染対策について

山梨県の第46週（11月13～11月19日）では、1定点当たり24.93人となっており、地域別では中北地域で30.77人、富士東部で26.33人と引き続き多い状況で、甲府市・中北・峡東保健所管内が、警報レベルとなっております。

### 【対応】

インフルエンザは昨年までに大きな流行がなかったこと、昨年のワクチン接種者数も低調であったこと、現場感覚としてインフルエンザワクチン接種が低調な印象があることから、若年者の大流行につながっていると思います。例年は一山超えると落ち着きますが、今年ほどの感染症の流行状況も例年と違うため、いまからでもインフルエンザワクチン接種をぜひご検討ください。5歳未満の小児、65歳以上の高齢者にとってインフルエンザは命にかかわることがある重篤な疾患です。必要時のマスクと手洗いで感染するリスクを低減することが可能です。

(やまなし感染症ポータルサイトより抜粋)



### 基本的な感染対策について

COVID-19 に対する基本的な感染対策（飛沫感染対策、エアロゾル感染対策、接触感染対策）は、インフルエンザ対策（飛沫感染対策、接触感染対策）としても有効です。

基本的感染対策	考え方
マスクの着用	一定の場合にはマスク着用を推奨
手洗い等の手指衛生 換気	新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策として有効
人と人との距離の確保等	流行期において、高齢者等重症化リスクの高い方は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場所、近接した会話を避けることが感染防止対策として有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

### <マスクの着用が効果的な場面>

- 高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診する時や、高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。
- そのほか、COVID-19 やインフルエンザの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

### <医療機関や高齢者施設などの対応>

- 高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などの従事者の方は、勤務中のマスクの着用を推奨しています。

#### 【留意事項】

- 子どもについては、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。
- なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ます。ただし、そのような場合においても、子どものマスク着用については、健康面などへの影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意をお願いします。
- マスクの着用は個人の判断に委ねられるものではありませんが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されます。ただし、障害特性等により、マスク等の着用が困難な場合には、個別の事情に鑑み、差別等が生じないよう十分配慮をお願いします。

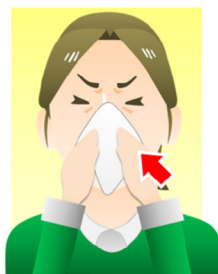
### 3つの正しい咳エチケット

1. マスクを着用する。



マスクをつけるときは取扱説明書をよく読み、正しくつけましょう。  
鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう。

2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う。



口と鼻を覆ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。

3. 上着の内側や袖（そで）で覆う。



※ また、手を洗うことでも病原体が広がらないようにすることができます。

## ○薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について

医療安全対策委員会では、標記事業の参加登録の推進を行っております。共有すべき事例2023年No. 9が公開されています。

日本医療機能評価機構ホームページからご覧いただけます。

(<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>)

参加登録及び事例報告をお願いいたします。

### 共有すべき事例 2023年No. 9

#### 事例1 調剤に関する事例【後発医薬品の製造販売業者変更時の説明不足】

<p>事例</p>	<p><b>【事例の詳細】</b>          平素より当薬局を利用している患者が、【般】フロセミド錠20mgと記載された処方箋を持参した。これまで交付していたフロセミド錠20mg「NIG」が入手困難になったため、今回はフロセミド錠20mg「NP」を交付した。薬剤師は、その変更について患者に説明しなかった。患者は、交付された薬剤の外観がこれまでと大きく異なっていたため不審に思い、服用しなかった。2週間後、処方医が、患者が薬剤を服用していないことに気づき、薬局に連絡した。</p> <p><b>【背景・要因】</b>          常勤の薬剤師が不在であり、他店舗の薬剤師が不慣れな環境で鑑査および交付を行った。レセプトコンピュータに処方内容を入力した者は、これまでと異なる製造販売業者のフロセミド錠20mgに変更したことを、患者および薬剤を交付する薬剤師に伝えなかった。製造販売業者が異なる後発医薬品に変更する際は患者に説明することを業務手順書に定めていたが、遵守しなかった。</p> <p><b>【薬局から報告された改善策】</b>          患者が継続して服用していた後発医薬品を他の製造販売業者の薬剤に変更する際は、レセプトコンピュータに処方内容を入力した者が他のスタッフにその情報を伝達することを業務手順書に明記した。薬局スタッフに、業務手順を遵守するよう周知した。</p>										
<p>その他の情報</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">販売名</th> <th style="width: 45%;">フロセミド錠20mg「NIG」</th> <th style="width: 45%;">フロセミド錠20mg「NP」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PTPシート の画像</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>日工株式会社ホームページより (参照2023年9月1日)</td> <td>ニプロ株式会社ホームページより (参照2023年9月1日)</td> </tr> </tbody> </table>		販売名	フロセミド錠20mg「NIG」	フロセミド錠20mg「NP」	PTPシート の画像				日工株式会社ホームページより (参照2023年9月1日)	ニプロ株式会社ホームページより (参照2023年9月1日)
販売名	フロセミド錠20mg「NIG」	フロセミド錠20mg「NP」									
PTPシート の画像											
	日工株式会社ホームページより (参照2023年9月1日)	ニプロ株式会社ホームページより (参照2023年9月1日)									
<p>事例のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事例は、薬剤を交付する際に製造販売業者が異なる後発医薬品に変更したことを患者に説明しなかったため、今まで服用していた薬剤と外観が違うことを不審に思った患者が服用を中断した事例である。</li> <li>薬剤師は、処方監査や鑑査、交付の際に薬剤服用歴などを見て前回処方との比較を行うことが基本である。その際、薬剤の製造販売業者についても、漏</li> </ul>										

	<p>れなく確認する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事例では、製造販売業者が異なる後発医薬品への変更について情報が共有されなかったことが要因として報告されている。必要な情報を患者に漏れなく提供するには、情報共有の重要性を理解し、薬局内のチームワークを高めて業務を行うことが有用である。</li> </ul>
--	---

事例2 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【電話でのやり取りによる規格間違い】

事例	<p><b>【事例の詳細】</b></p> <p>医療機関の看護師から薬局に「患者にオプソ内服液2.5ミリを処方したいが、在庫はあるか。」と電話で問い合わせがあった。薬剤師は2.5ミリを2.5mgと考え、「オプソ内服液の規格は5mgと10mgであり、薬局に在庫があるのは5mgのみである。」と伝えたところ、「5ミリを処方するよう、医師に伝える。」と返答があった。その後、薬局で応需した処方箋にオプソ内服液10mg（5mL/包）が記載されていたことから、薬剤師は、問い合わせ時に看護師が言った単位がミリリットルであることに気付いた。医療機関に確認したところ、オプソ内服液5mg（2.5mL/包）に変更となった。</p> <p><b>【推定される要因】</b></p> <p>オプソ内服液にはオプソ内服液5mgとオプソ内服液10mgがある。薬局では通常、成分量の単位であるmgを用いて規格を確認するため、看護師から問い合わせを受けた薬剤師は、「2.5ミリ」を「2.5mg」だと思い込んで返答した。</p> <p><b>【薬局での取り組み】</b></p> <p>電話でのやり取りでは必ず薬剤名の規格・単位まで確認する。オプソ内服液は特に規格・単位に関する間違いが生じやすいことを全職員に注意喚起した。</p>		
その他の情報	販売名	オプソ内服液5mg	オプソ内服液10mg
	成分・含量	1包2.5mL中 日局モルヒネ塩酸塩水和物5mg	1包5mL中 日局モルヒネ塩酸塩水和物10mg
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事例では、医療機関と薬局で意思疎通がうまく行われず、処方意図と異なる規格の医療用麻薬が処方された事例である。電話でのやり取りの際は、解釈に齟齬が生じる可能性があることを認識しておく必要がある。</li> <li>・薬剤師は、医療機関等から薬剤に関する問い合わせを電話で受けた際、解釈の齟齬を防ぐためには薬剤の名称、規格・単位まで丁寧に確認することが重要である。例えば、相手が言った内容について「2.5ミリとは2.5ミリグラムのことですか。」のように具体的に確認することや、FAXやメールなどの文字情報を用いて確認することが有用である。</li> <li>・医療用麻薬の内服液には、オプソ内服液の他にオキシコドン内服液があり、2.5mg（2.5mL/包）、5mg（2.5mL/包）、10mg（5mL/包）、20mg（5mL/包）の規格が存在する。内服液には1包あたりの有効成分の含量（mg）と容量（mL）の表記があることに留意し、他の医療従事者と医療用麻薬の内服液についてやり取りする際は、製剤の含量や容量の認識に齟齬が生じないよう、慎重に確認する必要がある。</li> </ul>		

事例3 一般用医薬品等に関する事例【受診勧奨（来局者の症状）】

事例	<p><b>【事例の詳細】</b></p> <p>来局者が、腹部に発疹があるのでフルコートfを購入したいと希望した。薬剤師が症状を確認すると、腹部の発疹は赤みが強く、片側性で痛みもあるとのことであった。薬剤師は症状から皮膚科医の診察が必要と判断し、フルコートfは販売せず、近隣の皮膚科医院を紹介し、すぐに受診するよう来局者に伝えた。来局者が皮膚科医院を受診したところ帯状疱疹と診断され、アメナリーフ</p>
----	---

	錠200mg、ビダラビン軟膏3%が処方された。 <b>【背景・要因】</b> 来局者は、以前使用したことがある一般用医薬品を購入して対応しようとした。 <b>【薬局から報告された改善策】</b> 来局者が薬剤名を指定して一般用医薬品の購入を希望した際は、症状を詳しく確認し、必要であれば適切な薬剤への変更提案や受診勧奨を行う。
その他の情報	フルコートf（指定第2類医薬品）の添付文書 2017年2月改訂（一部抜粋） 使用上の注意 してはいけないこと （守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります） 2. 次の部位には使用しないでください。 （1）水痘（水ぼうそう）、みずむし・たむし等のある患部。
事例のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事例は、一般用医薬品の購入希望者から皮膚症状を聴取した薬剤師が、皮膚科医への受診勧奨を行った事例である。ステロイド外用薬の購入希望者に帯状疱疹が疑われる場合は、重症化や後遺症が心配されるウイルス感染症の症状である可能性があること、ステロイド外用薬の使用は不適切である可能性があることなどを説明して、早期に医療機関を受診するよう勧める必要がある。</li> <li>・一般用医薬品の不適切な販売を回避するために、薬剤師が症状の確認を行うことは有用である。</li> <li>・一般用医薬品の購入および既に購入した薬剤の使用の適否について、日頃から地域住民が薬局で気軽に尋ねることができる関係性を構築することは、セルフメディケーションの推進に有用である。</li> </ul>

## ○日薬ニュース

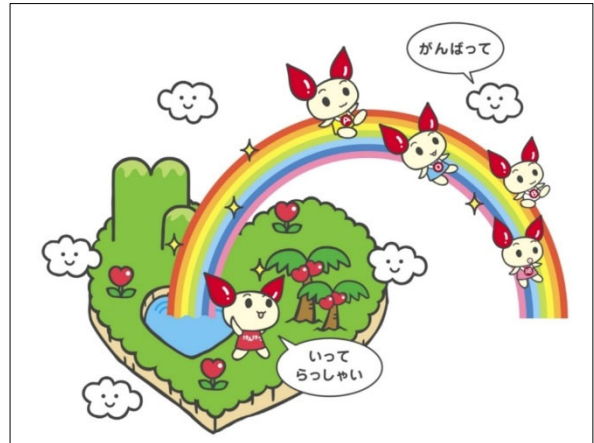
### 【第291号】

- ・ 中医協、処遇改善、後発品等の安定供給等について議論
- ・ 医療保険部会、令和6年度診療報酬改定の基本方針等について議論
- ・ 緊急避妊薬の調剤に対応可能な薬局及び薬剤師の一覧ご確認お願い
- ・ J P A L S 本年度の「実践記録」提出期限2024年（令和6年）1月10日（水）まで！
- ・ eお薬手帳3.0早期申込キャンペーン第2弾！

# 山梨県からのお知らせ

○令和6年「はたちの献血」キャンペーンの実施について  
～その一歩が、だれかの一生になる。はたちの献血～

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液を安定的に確保するため、「はたち」の若者を中心として広く県民の方々に献血に関する理解と協力を求めるとともに、成分献血及び400ml献血を一層推進するため、1月1日から2月28日までの2か月間「はたちの献血」キャンペーンが全国一斉に展開されます。



令和6年「はたちの献血」キャンペーン実施要領

## 1 目的

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤を安定的に確保するため、「はたち」の若者を中心として広く県民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に成分献血、400ml献血の継続的な推進を図ることを目的とする。

## 2 期間

令和6年1月1日(月)から2月29日(木)までの2か月間

## 3 実施機関

山梨県、日本赤十字社山梨県支部、山梨県赤十字血液センター

## 4 実施事項

### (1) 広報による啓発

県、日本赤十字社山梨県支部及び山梨県赤十字血液センターは、連携し各種広報手段を活用して本キャンペーンの目的を周知する。併せて、献血への協力を働きかける。

### (2) ポスター等の掲示

県、日本赤十字社山梨県支部及び山梨県赤十字血液センターは、厚生労働省及び日本赤十字社から配布されるポスター等の掲示を行うとともに、市町村、学校、病院、各種団体、地域組織等に配布し、公衆の目につきやすい場所への掲示を依頼する。

### (3) 若年層の献血者対策の推進

県、日本赤十字社山梨県支部及び山梨県赤十字血液センターは、市町村等の協力を得て、若年層への献血の推進及び将来の献血者に対する普及啓発を図る。

### (4) 複数回献血の推進

日本赤十字社山梨県支部及び山梨県赤十字血液センターは、献血Web会員サービス「ラブラッド」の会員数の増加及び献血者へのサービスの向上を図るとともに、継続的な献血への協力を呼びかける。県はこれらの取組に協力する。

# 禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧

（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧）

## 甲府市

あきやま医院	東下条町 80-2
今井循環器呼吸器科	住吉 1-10-4
大久保内科呼吸器科クリニック	丸の内 1-19-18
おかだ内科クリニック	北口 2-9-12 ニシコ ー北口駅前ビル 2F
おさだクリニック	下飯田 2-4-6
小沢耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック	朝日 1-8-13
内科小児科小野医院	貢川 2-2-11
くぬぎクリニック	北口 1-1-8
甲府共立診療所	宝 1-10-5
こうふサザンクリニック	徳行 2-14-26
斉藤内科循環器科医院	国母 8-26-13
順聖クリニック	湯村 1-5-19
医療法人慈光会 甲府城南病院	上町 753-1
市立甲府病院	増坪町 366
住吉病院	住吉 4-10-32
心療内科たけうちクリニック	国母 7-5-17 サンライ ン甲府ビル 2A
塚原整形外科	丸の内 2-9-14
露木耳鼻咽喉科医院	中央 4-9-2
医療法人仁明会ながまつ医院	宮原町 88-1
東甲府医院	桜井町 299
ひろクリニック	中小河原 1-9-12
深澤内科クリニック	国母 5-19-18
ふじ内科クリニック	緑ヶ丘 1-4-16
藤原医院	塩部 4-15-16
古川内科・皮フ科	国母 1-4-8
望月クリニック	塩部 4-16-2
山梨県厚生連健康管理センター	飯田 1-1-26
山梨県立中央病院	富士見 1-1-1
湯村温泉病院	湯村 3-3-4
横田内科小児科医院	上石田 2-30-44
楽天堂内科整形外科	朝気 1-1-29

## 笛吹市

磯山医院	石和町四日市場 2031-106
一宮温泉病院	一宮町坪井 1745
弦間医院	一宮町末木 864-2
医療法人銀門会甲州リハビリテーション病院	石和町四日市場 2031-25
境川診療所	境川町石橋 2207-1
三枝クリニック	石和町河内 37-2
清水内科クリニック	石和町駅前 6-2
しむら医院	石和町東高橋 131
医療法人康麗会笛吹中央病院	石和町四日市場 47-1
医療法人博友会 三科医院	春日居町桑戸 698-1
望月内科クリニック	御坂町井之上 819-1

## 山梨市

飯島医院	小原西 5
加納岩総合病院	上神内川 1309
坂の上クリニック	東後屋敷 986-8
山梨市立牧丘病院	牧丘町窪平 302-2

## 甲州市

池田内科小児科医院	勝沼町勝沼 2961
甲州市大藤診療所	塩山上粟生野 13-1
甲州市立勝沼病院	勝沼町勝沼 950
松里診療所	塩山三日市場 1982-1

## 韮崎市

いいのクリニック	本町 2-14-15
岩下内科医院	若宮 1-2-50 韮崎市民交流センター3F
たのくらクリニック	藤井町南下条 338
韮崎市国民健康保険韮崎市立病院	本町 3-5-3

## 北杜市

中田医院 中国医学研究所	須玉町若神子 608
北杜市立白州診療所	白州町白須 1341
北杜市国保見聞診療所	明野町上手 1-12
武川診療所	武川町牧原 1371

## 甲斐市

くろだ小児科・耳鼻科	西八幡 1939-2
小山医院	島上条 492-1
敷島クリニック	中下条 246
清水内科循環器科医院	篠原 1429-1
たわら内科クリニック	西八幡 1191
中沢クリニック	竜王 3091-1
原口内科・腎クリニック	篠原 2975-1
ふたば内科消化器科医院	龍地 2795-10
内科・呼吸器内科 保坂クリニック	竜王新町 2298-6
竜王ファミリークリニック	富竹新田 1757-1

## 昭和町

あいのた内科消化器科クリニック	中西条 1481-2
風間内科医院	押越 916-1
昭和メディカルクリニック	飯喰 404-2
森川医院	河東中島 1903

## 中央市

きたむらクリニック	若宮 23-2
玉穂ふれあい診療所	成島 2439-1
西野内科医院	山之神 2389-1
若葉クリニック	浅利 1686-2

### 南アルプス市

こうの内科クリニック	桃園 1688-3
巨摩共立病院	市桃園 340
笹本クリニック	下宮地 433-1
白根なかざわクリニック	在家塚 52-6
白根徳洲会病院	西野 2294-2
まつざきクリニック	下宮地 624

### 富士川町

峡南医療センター企業団 富士川病院	鯉沢 340-1
----------------------	----------

### 身延町

身延町早川町国民健康保険 一部事務組合立飯富病院	飯富 1628
-----------------------------	---------

### 南部町

南部町国民健康保険診療所	南部 8050-1
--------------	-----------

### 市川三郷町

医療法人啓徹会市川メディ カルクリニック	高田 518-1
溝部医院	市川大門 1235

### 大月市

地方独立行政法人 大月市 立中央病院	大月町花咲 1225
稚枝子おおつきクリニック	大月 1-8-5
武者医院	大月 1-15-18

### 都留市

都留市立病院	つる 5-1-55
東桂メディカルクリニック	十日市場字名主目 958-1

### 上野原市

上野原市立病院	上野原 3504-3
---------	------------

### 富士吉田市

医療法人大田屋会 大田屋 クリニック	上吉田 5-8-3
医療法人和彦会 くわざわ クリニック	上吉田 2-13-2
新西原クリニック	上吉田 4259-2
高田内科クリニック	上吉田 4203-2
富士の森クリニック	上吉田 7-12-14
樂天堂整形外科	上吉田 2-5-1 富士急 ターミナルビル5階

### 富士河口湖町

かわぐち湖ファミリークリ ニック	小立 4115-1
山梨赤十字病院	船津 6663-1

### 鳴沢村

なるさわクリニック	鳴沢村 2126-1
-----------	------------

※この一覧は、あくまでもニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関確認のための参考資料として使用してください。

※医療機関から発行された該当処方せんの備考欄には、保険適用の根拠として「ニコチン依存症管理料の算定に伴う処方である。」と必ず記載されています。

(平成18年6月1日付 保医発第0601001号 厚生労働省保険局医療課長通知、(2)の①に記載)

万が一記載がない場合には、必ず医療機関へ疑義照会が必要となりますので取扱いの徹底をお願いします。